

平成 29 年 8 月 21 日

新潟県医師会長  
渡 部 透 様

新潟大学医学部災害医療教育センター長  
牛木 辰男

第 12 回新潟 MCL S 標準コース指導スタッフ及び受講生の募集について（依頼）

平素より、本センターにおける災害医療教育への格別の御高配を賜り御礼申し上げます。

さて、本センターでは、標記研修会の開催を下記のとおり予定しています。

大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、貴会管下の医療機関ならびに新潟県民医療推進協議会の構成団体における災害医療関係者への周知について、御配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時  
平成 29 年 10 月 8 日（日）午前 8 時 30 分から午後 6 時まで（予定）
- 2 場 所  
新潟医療人育成センター（新潟県新潟市中央区旭町通 1 番町 757）
- 3 研修内容  
別紙「MCL S コースカリキュラム等」をご参照ください。

**【本件にかかる連絡先】**

〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地  
新潟大学医学部災害医療教育センター 担当 内山  
TEL : 025-227-2033 FAX : 025-227-2167  
E-mail : disaster@med.niigata-u.ac.jp

平成 29 年 8 月 21 日

新潟県内病院管理者様  
新潟県民医療推進協議会構成団体の代表者様  
新潟市保健所長様  
消防本部長様  
新潟県警察本部警備部警備第二課長様  
関係者各位

新潟大学医学部災害医療教育センター長  
牛木 辰男

第 12 回新潟 MCL S 標準コース指導スタッフ及び受講生の募集について（案内）

平素より、本センターにおける災害医療教育への格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

さて、本センターでは、日本集団災害医学会認定の、多数傷病者への対応標準化トレーニングコース（Mass Casualty Life Support : MCLS）について、下記のと通りの開催を予定しています。

ついては、指導スタッフ並びに受講生を募集しますので、貴所属職員に周知くださいますようお願いいたします。また貴所属の MCL S インストラクター資格を有する職員の参加について、ご配慮くださいますようお願いいたします。

記

- 1 名 称 第 12 回新潟 MCL S 標準コース
- 2 日 時 平成 29 年 10 月 8 日（日）午前 8 時 30 分から午後 6 時まで（予定）
- 3 場 所 新潟医療人育成センター（新潟大学旭町キャンパス内）  
新潟県新潟市中央区旭町通 1 番町 757
- 4 主 催 新潟大学医学部災害医療教育センター
- 5 担 当 者 コース担当責任医師 高橋 昌（新潟大学）  
コース運営担当者 中込 悠（新潟大学）
- 6 受講者定員 24 名
- 7 受 講 費 12,000 円（登録料，テキスト代込）
- 8 指導者スタッフ インストラクター 12 名  
モニター評価参加者 8 名
- 9 申し込み方法  
下記申込みフォーム，または新潟大学医学部災害医療教育センターのホームページ内，

「イベント・研修会」からお申し込みください。

- (1) 第12回新潟MCLS標準コース受講申込みフォーム  
<https://business.form-mailer.jp/fms/d71251d073820>



受講申込

- (2) 第12回新潟MCLS標準コース指導者・モニター参加申込みフォーム  
<https://business.form-mailer.jp/fms/84fb918273821>



指導者・モニター申込

1.1 申し込み期間 平成29年8月21日(月)から平成29年9月6日(水)17時まで

1.2 その他

- (1) 申込み際のメールアドレスは個人メールアドレスとしてください。
- (2) 申込み後に自動返信メールが届かない場合、メールアドレス誤記入の可能性があります。メールアドレスをご確認のうえ、フォームの再入力をお願いします。
- (3) 申込み多数の場合は、経験、地域性等と考慮して選考いたしますのでご了承ください。
- (4) コース参加の採否は、9月8日(金)までに連絡する予定です。

**【本件にかかる連絡先】**

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地  
新潟大学医学部災害医療教育センター 担当 内山  
TEL : 025-227-2033 FAX : 025-227-2167  
E-mail : disaster@med.niigata-u.ac.jp

## MCLSコースカリキュラム等

### 【MCLSコースの目的】

MCLSの目的は、消防職員・警察職員などが、災害現場で実施すべき医療について理解を深めることです。災害現場医療に興味のある医療従事者（医師・看護師・コメディカル・病院事務官など）に、トレーニングの機会を提供します。

### 【受講資格】

① 消防職員 ② 医師 ③ 歯科医師 ④ 看護師及び准看護師 ⑤ 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師及びその他の医療関係者で、災害医療派遣業務に従事するもの ⑥ 救急救命士 ⑦ 警察官、海上保安官及び陸上自衛隊、海上自衛隊又は航空自衛隊の自衛官で、救急業務、救助業務又は災害医療派遣業務に従事するもの ⑧ 救急救命士法第34条第1号から第3号までの規定に基づき、救急救命士の受験資格を得ることができる学校、若しくは救急救命士養成所、大学医学部又は看護学部及び看護学校（准看護学校を含む）の学生又は生徒 ⑨ 防災業務に携わる行政担当者 ⑩ その他、運営委員会が認めるもの

### 【標準コースカリキュラム】

#### 1 座学

(ア) 災害医療・多数傷病者対応とは

① 「多数傷病者対応概論」 ② 「災害時医療対応の原則」 ③ 「DMATとは」

(イ) 現場・応急救護所における災害・多数傷者への救助・医療活動

① 「災害時の現場医療(3T：トリアージ、応急処置、搬送)」

(ウ) 災害時の指揮と統制

#### 2 机上シミュレーション

(ア) 現場における先着隊の役割

(イ) 多数傷病者対応(CSCA)

(ウ) 現場救護所の運営(3T)

#### 3 実技訓練

(ア) トリアージタグの記入方法

(イ) 現場・応急救護所におけるトリアージ(START法)

#### 4 実技試験

#### 5 筆記試験

(以上、日本集団災害医学会HPより)